

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年 2月 5日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	補機冷却海水系原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(B)の貝殻除去装置巡回弁において、動作不良(開度を「+30°」から「全開」へ操作中、「+20°」の位置で固着し操作できない)が認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	2月2日
2	1号機	補機冷却海水系原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(B)の電解鉄イオン注入流量計前弁の軸封部において、海水の漏えい(漏えい量、約15秒に1滴)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、漏えい箇所からの海水の滴下については、弁の下部に受け皿を設置。	GⅢ	2月2日
3	1号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器入口導電率指示発信器において、指示値不良(現場制御盤の発信器の画面は消灯し、中央制御室の記録計は「0μS/cm」を指示している)が認められたため、当該導電率指示発信器を点検・修理。 なお、ろ過脱塩器出口側の導電率は正常値であることが確認できており、当該計器修理完了までは、手分析による水質評価を行うことから、水質管理上の影響はない。	GⅢ	2月3日